

ご使用のまえに

「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用される方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は、感電注意が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は、分解禁止が描かれています。

●記号は使用者の行為を指示することを告げるものです。左図の場合は、一般的な指示が描かれています。

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「サポートマニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは必ず保管してください。

警告

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。
- 当社指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

STANDARD

デジタル/アナログ簡易無線 GX5580VCA

(VHF帯/無線局種別コード:3A(免許局))

デジタル簡易無線 (総務省技術基準適合品) GX5580UCB

(UHF帯/無線局種別コード:3B 3C 3D(免許局))

GX5580UCR

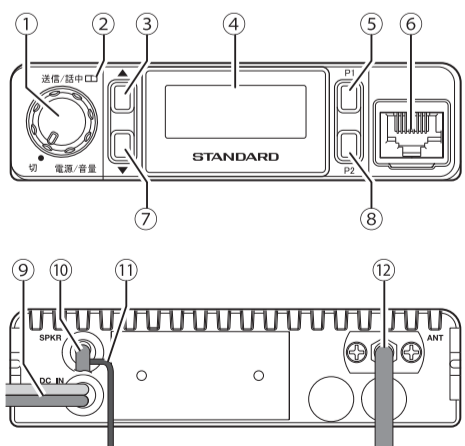
(UHF帯/無線局種別コード:3R 3T(登録局))

簡易取扱説明書

株式会社CSR

〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号
当社の最新情報をインターネット上で閲覧できます。
<https://www.kcsr.co.jp/>

各部の名称と動作説明



- ①電源スイッチ/音量つまみ**
 - このつまみを右(時計方向)に回すと電源が入り、さらに回すと音が大きくなります。
 - このつまみを左(反時計方向)に回すと音が小さくなり、回し切ると電源が切れます。
- ②送信/話中LED(TX/BUSY LED)**
 - 送信中のときは、赤色が点灯します。
 - 受信すると、緑色が点灯します。

警告

- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- 当社指定の電源ケーブル以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、分解・改造を行った機器を使用すると法律違反(電波法違反)となります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、無線機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源コネクターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コネクターを抜いてください。また、屋外にアンテナが設置されているときは、アンテナコネクターをはずしてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- 送信中にアンテナに触れないでください。やけど・けがの原因となります。
- 機器で指定されていないヒューズは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源コネクターを抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コネクターを抜くときは、必ずコネクターを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 使用中は機器が熱を持ちますが、故障ではありません。

警告

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

注意

- この無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内や病院などの使用を禁止された場所では、この機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源コネクターを抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コネクターを抜くときは、必ずコネクターを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 使用中は機器が熱を持ちますが、故障ではありません。

お願い

- 通信は無線局免許状に記載されている目的・通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。
- 1回の送信時間は5分を越えないでください。
- 使用する前には、必ず無線機が正常動作するか、電源電圧などは正常か確認してください。無線機の故障による事故の責任は負いかねます。
- 通信可能範囲は地形および電波状況によって異なります。必ず通信可能範囲でご使用ください。通信不可能状態での事故の責任は負いかねます。

防塵/防水性能について

付属マイク&スピーカー(CMP500S)を無線機本体に接続することで、無線機本体がIP54相当(防塵等級5^{※1}、防水等級4^{※2})の防塵/防水性能を維持できます。ただし、マイク&スピーカー(CMP500S)単品は防塵/防水性能はありません。

次のような使い方をすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 雨の中や水滴が付着した状態、または濡れた手でマイクロホンや外部スピーカーを着脱したとき
 - 落下させたりして、強い衝撃が加わったとき
 - 本製品を分解または改造したとき
 - 蛇口やシャワーから水や湯を直接当てたり、高圧洗浄機やエアダスター、スチーム洗浄を行ったとき
 - 水や海水につけたとき
 - 20℃~+60℃以外の環境で使用したとき
- ※1:動作に影響を与える以上の粉塵が内部に侵入しない。
※2:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。

登録商標について

本製品は公式ライセンスである株式会社CSRにより製造、配布または販売されています。Vertex Standard, Standard, およびデザイン化されたVSロゴとSRロゴは、Vertex Standard Trademark Holdings, LLCの商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
©2023 CSR, Inc. All rights reserved.

- ③▲ボタン**
 - このボタンを押すとチャンネルがアップします。
 - このボタンを長押しすると、スケルチ変更モードになります。
 - 設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え、数値の変更を行うことができます。
- ④表示部**
 - 詳細は、本ページの「表示部」をご覧ください。
- ⑤P1ボタン**
 - このボタンを押すと録音がある場合はボイスメッセージを再生します。
 - このボタンを押しながら、電源を入れると設定モード(呼出設定・機能設定・CSM・ATIS番号)になります。
 - 設定ツールでキー割付を変更することができます。
- ⑥モジュラージャック**
 - マイク&スピーカー(CMP500S)またはスタンドマイク(CSM500S)を接続します。
 - ※出荷時には防水用ゴムキャップが取り付けられています。マイク&スピーカー(CMP500S)を装着しない時には必ず防水用ゴムキャップを取り付けてください。
- ⑦▼ボタン**
 - このボタンを押すとチャンネルがダウンします。
 - このボタンを長押しすると、キーロックになります。
 - 設定モードで、このボタンを押すと設定内容の切り替え、数値の変更を行うことができます。
- ⑧P2ボタン**
 - このボタンを押すと、ユーザーコード設定モードになります。
 - 設定モードで、このボタンを押すと設定内容・数値の決定、項目の変更を行うことができます。
 - 設定ツールでキー割付を変更することができます。
- ⑨電源ケーブル**
 - 直流(DC)12V系または24V系の電源と接続します。これ以外の電源には絶対に接続しないでください。
- ⑩外部スピーカー用ケーブル**
 - 外部スピーカーを接続します。(Φ3.5ジャック使用)
 - 外部スピーカーは、4Ω以上のものをお使いください。
- ⑪エマーゼンシー(EMG)用ケーブル**
 - エマーゼンシー用スイッチを接続します。スイッチの接続に関しましては、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
- ⑫アンテナケーブル**
 - 指定のアンテナを取り付けます。指定のアンテナ以外は使用しないでください。指定のアンテナにつきましては、販売店にお問い合わせください。

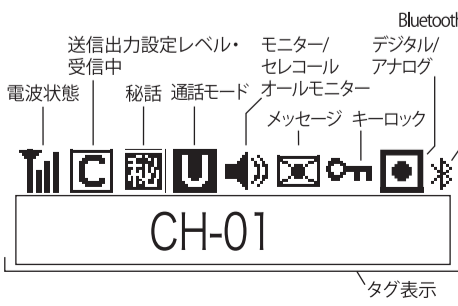
本体付属品

品名	数量	備考
本体取付金具	1	
本体取付金具用ビス大	4	M5×15
ワッシャー	4	5.0×12.0×t0.8
ナット	4	M5
タッピングビス	4	4×10
マイクフック	1	
タッピングビス	2	3×10
交換用ヒューズ	2	250V/5A
DC電源ケーブル	1	約3m、5Aヒューズ×2付き
マイク&スピーカー	1	CMP500S
簡易取扱説明書	1	本書
保証書	1	

■オプション

業務用電源(PS500JA)、スタンドマイク(CSM500S)、マイク&スピーカー(CMP500S)、外部スピーカー(CSK700)

表示部



表示の名称	表示の意味と動作
電波状態	受信信号強度を4段階で表示します。
送信出力設定レベル	送信出力設定レベルをH/Lの2段階で表示します。受信時は接続中にCが表示されます。
秘話	秘話通話設定中に表示されます。
通話モード	通話モードを表示します。 U: ユーザーコード通話 個: 個別通話で個別呼び出し時に表示 G: 個別通話でグループ呼び出し時に表示 全: 個別通話で一斉呼び出し時に表示
モニター/セレコールオールモニター	🔊: モニター機能設定時に表示します。 📞: セレコールオールモニター機能設定時に表示します。
メッセージ	ショートメッセージを受信時に表示します。
キーロック	キーロック中に表示します。
デジタル/アナログ	チャンネルのデジタルまたはアナログを表示します。 📺: デジタルチャンネル 📺: アナログチャンネル
Bluetooth®	Bluetooth®機能(接続中)がオンの時に表示します。
タグ表示	全角8文字、半角英数字16文字まで表示されます。タグ表示を設定していない場合は、チャンネル番号を下記のように表示します。 GX5580VCAアナログチャンネルの場合: アナ CH-01 GX5580VCAデジタルチャンネルの場合: デジ CH-01 GX5580UCB/UCRの場合: CH-01 タグ表示の設定は、設定ソフトを使用します。

タグ表示例(GX5580VCAの場合)

■アナログチャンネル表示例

アナ CH-01

タグ表示

■デジタルチャンネル表示例

デジ CH-01

タグ表示

無線局免許が必要です

本機をお使いになる前に、総務省総合通信局への無線局免許申請が必要です。免許申請を行って、無線局免許状がお手元に届いてからご使用ください。

- 無線局開設後は、電波利用料の納付が必要となります。総務省からの納入告知書に従って、期限内に納付してください。

無線局の免許申請手続きや開設届をしない、上空で使用する、指定以外のアンテナを使うといった行為は不法無線局の開設となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。

- 本製品は、日本国内における陸上で運用する無線局です。上空および海上で運用すると違法運用となります。
- アンテナは指定のものをお使いください。指定以外のアンテナを使用すると違法運用となります。指定のアンテナにつきましては、サポートマニュアルをご参照ください。

Bluetooth®について

本製品は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の認証を取得したモジュールを内蔵しています。

以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解したり改造すること。
- モジュールに貼ってある認証ラベルをはがすこと。

注意

- 本機のBluetooth®モジュールの使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどや、医療用、産業用などや、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。そのため、本機と他の無線局とで電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用を停止するか、使用場所を移動してください。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社CSRはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の本書に記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

取付の注意

本機の据え付け場所を決定する際には、次の点に注意してください。

- ストーブ、スチーム、ヒーター等の発熱体の近くや日光の直射を受ける場所は避けてください。
- 極度な振動・衝撃を受けやすい場所は避けてください。
- アンテナ同軸ケーブル、その他のケーブルの配線が容易な場所を選んでください。
- 操作のしやすい場所を選んでください。
- 振動に充分耐えるようしっかりと固定してください。
- 電源ケーブルは赤線を+極に、黒線を一極(アース)に接続してください。
- 本機の送信電波が端末機器に影響を与える場合があります。このような時は、端末機器に影響を受けない距離までアンテナを離してください。

保証・アフターサービス

【保証書(別添)】

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

本体保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

【保証用性能部品の最低保有期限】

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店へお問い合わせください。

CSRカスタマーサポート

0120-973-698

e-mail: wavecsr_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

マイク&スピーカーについて

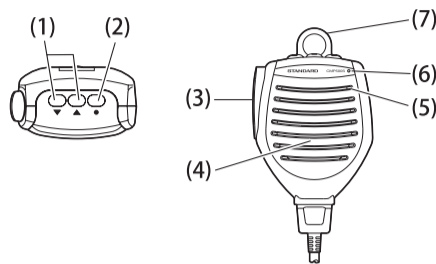
付属のマイク&スピーカー(CMP500S)は、本機専用です。

※以下、マイク&スピーカー(CMP500S)は、特に断りのない限りマイク&スピーカーと表記します。

注意

- マイク&スピーカー(CMP500S)は、他の機種には接続しないでください。マイク&スピーカーを他の機種に接続すると、マイク&スピーカーを破損するおそれがあります。

マイク&スピーカー各部の名称



(1)音量アップ・ダウンキー

- 音量ダウンキー(▼)を押すと、音量が小さくなります。音量アップキー(▲)を押すと、音量が大きくなります。

お願い

- マイク&スピーカーを使つての音量調整は、電源を切ると解除されます。音量を固定したい場合は、音量ツマミで行ってください。

(2)モニターキー

- 通話状況がモニターできます。
- 1回押下でモニター動作ONになります。再度、押下するとモニター動作OFFになります。

(3)プレスキー

- 押すと送信、離すと受信状態となります。

(4)スピーカー

- 受信状態の時に音が出ます。
- 業務用電源(PS500JA)をご使用の際は、業務用電源(PS500JA)のスピーカーも使用できます。

(5)マイク

- 送信時は、この面に向かって話します。

(6)話中(緑)/送信(赤)表示

- 他局が通話中の時、緑色に点灯します。
- 送信状態になった時、赤色に点灯します。
- ※無線機本体と同様の点灯表示をします。

(7)マイクハンガー

- マイク&スピーカーをマイクフックに掛けるための金具です。

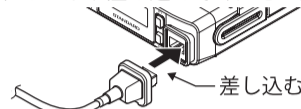
マイク&スピーカー取り付け・取り外し

マイク&スピーカーのコネクター部は防水用プッシュ構造になっています。

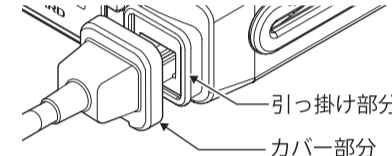
注意

- 本機の防水機能を保つには、以下の手順を確実に行ってください。マイク&スピーカーが正しく取り付けられていないと、水が本機内部に入り、故障の原因となります。

- ①マイク&スピーカーを接続するには、本機のモジュラージャックにマイクのコネクターを差し込みます。
 - ・マイクのコネクターがカチッと音がするまで、しっかり差し込んでください。



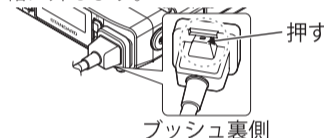
- ②マイクプッシュのカバー部分を本機のモジュラージャック周辺の引っ掛け部分に隙間なく被せます。



- ・カバー部分は、指で本機のモジュラージャック引っ掛け部分の全周にしっかりとなじませるように被せてください。

隙間無し	隙間有り
OK	NG

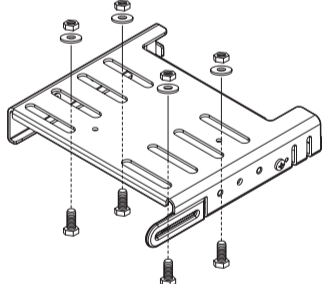
- ③マイク&スピーカーを取り外すには、マイクのコネクターをプッシュカバー裏側の凸部分をしっかりと押しながら、コネクターとマイクプッシュを一緒に外します。



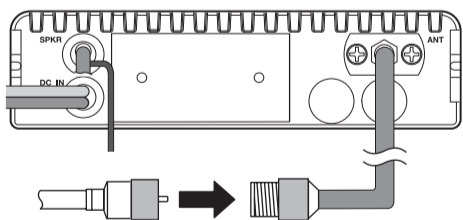
取付方法

本体の取付方法

- ①付属している本体取付金具と本体取付金具用ビス一式を用意します。
- ②本機を取り付けたい場所に金具の位置に合わせて、穴を開けます。
- ③本体取付金具用ビス一式のビスとナットまたはセルフタップネジでネジ止めします。

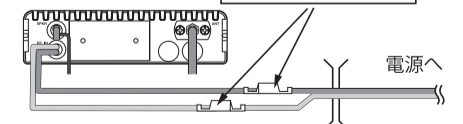


- ④アンテナ同軸ケーブルを接続します。

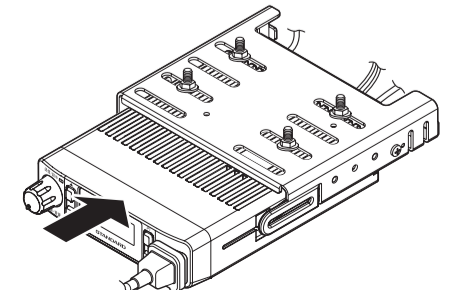


- ⑤本体電源ケーブルとバッテリー側電源ケーブルを接続します。電源ケーブルは赤線を+極に、黒線を一極(アース)に接続してください。

赤: プラス (+)
黒: マイナス (-)



- ⑥本体を取付金具に取り付けます。



基本の操作

起動と待受および受信

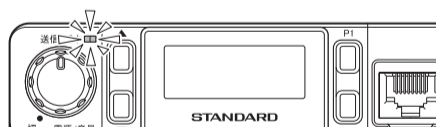
- ①電源スイッチ/音量ツマミを右(時計方向)に回すと電源が入ります。表示部が点灯します。



- ②音量ツマミを半分くらい回します。



- ③信号が入ると話中表示(緑色)が点灯することを確認します。

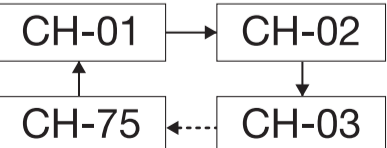


- ④チャンネルの変更

- 1) ▲ボタンを押すとチャンネルがアップします。

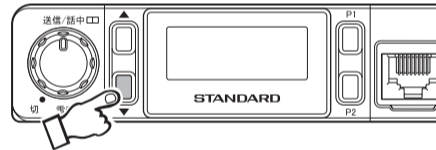


(例: GX5580UCBの場合
(75チャンネル))



- ※チャンネル数
- GX5580VCA (VHF帯)
- アナログ: 9チャンネル
- デジタル: 19チャンネル
- GX5580UCB (UHF帯)
- デジタル: 75チャンネル
- GX5580UCR (UHF帯)
- デジタル: 82+15 (上空)チャンネル

- 2) ▼ボタンを押すとチャンネルがダウンします。



アドバイス

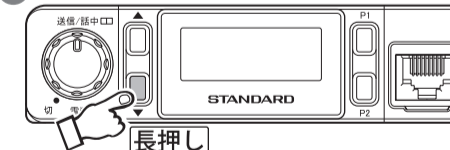
- チャンネル番号が異なると通話できません。相手局の了解を得てからチャンネルの変更を行ってください。

キーロックの方法

- ①電源スイッチ/音量ツマミを右(時計方向)に回して電源を入れます。

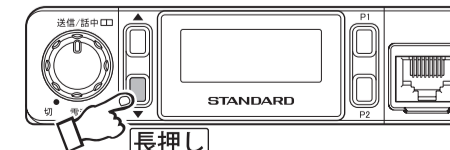


- ②▼ボタンを長押しします。



- 「**LOCK**」(キーロックマーク)が表示され、キーロックが働きます。
- 本体の音量ツマミおよびマイク&スピーカー(CMP500S)のプレスキーは、キーロック中でも使用できます。また、エマージェンシーボタンおよびスケルチ変更モードも使用可能です。

- ③キーロックを解除するには、▼ボタンを長押しします。



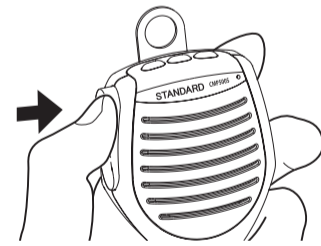
- 「**LOCK**」(キーロックマーク)が消え、キーロックが解除されます。

送信

- ①送信する前には必ず本体またはマイク&スピーカーの話中表示が消えていることを確かめてください。



- ②マイクのプレスキーを押します。



- このとき本体およびマイクの送信表示(赤色)が点灯します。

- ③マイクは、口もとから5cmぐらい離して、ゆっくり明瞭に話します。

- ④送話が終わったら直ちにプレスキーを離します。

- このとき本体およびマイクから送信表示が消え、待受状態になります。

閉局

送受信が終わり閉局する時は、その旨を相手局(基地局または移動局)に伝えてから電源スイッチ/音量ツマミを左(反時計方向)に回し切り、電源を切ると表示部が消えます。